



東風

三月議会報告

岩井康議員は、「これからの我孫子市について」、野村貞夫議員は、「行きとどいた教育をめざしてと、不登校対策」について質問を行いました。

岩井康議員



多くの問題がある中で、交通の利便性や東地区の活性化が町づくりにとって重要な課題と考えられます。市長の施政方針を深めるために質問を行いました。

これからの我孫子市について

「活力あふれたにぎわいのあるまちづくり」

令和5年度から商業観光まちづくり大綱、商業観光まちづくりデータブックや商業観光まちづくり

令和4年に改訂しました我孫子市都市計画マスタープランにおきまして、市の玄関口であります我孫子駅と本市最大の地域資源である手賀沼を結ぶ公園坂通りを「歩きたく

地域公共交通の維持確保と利便性向上、シャトルバス実証運行、既存路線バスの再編等の具体化
シャトルバスの実証運行内容の具体化については、公共交通事業者から、新型コロナウイルス感染症拡大での利用者数の減少及び燃料高騰影響で、布佐地区、新木地区の一般路線バス運行経路の維持が大変難しいという話が出ています。このことから、シャトルバスの実証

(青木章副市長)

「カーボンニュートラルを実現するまちづくり」

市では再生可能エネルギーや省エネルギー設備について、住宅など脱炭素化促進を進めてまいります。具体的には、太陽光発電システムや燃料電池、電池自動車、令和4年に新たに集合住宅

我孫子市における「コンパクトシティ」の位置づけ

我孫子市は、これまで5つの駅を中心に商業をはじめ、中高層住宅と低層住宅を結んだコンパクトな都市構造を形成しています。

また、我孫子市はすでにコンパクトシティは出てきているという前提に立っています。これから先、

人口減少に対して責任ある社会保障関係、教育関係など、市民生活のレベルを下げないための手だて、まちとして市政ぐるみ、行政ぐるみできちんと対応できる市政運営を意識していきます。

(山本康樹環境経済部長)

(星野順一郎市長)

岩井議員 国民保険税増額 反対討論を行う

令和5年の我孫子市の国民健康保険税が平均7500円増となることについて、岩井康議員が最終日の3月16日に反対討論を行いました。(要点のみ)

我孫子市の国民健康保険税の増額を見直しした場合、税収として約1億9千万円の歳入増が見込め、その際被保険者一人当たり約7500円増となることとしています。しかし、予算編成上ではまだ約1億8121万円の不足が生じる見込みとされています。諸物価が高騰し、とりわけ光熱水費がこれまでの2〜3倍といった状況で、被保険者当たり7500円の増額は受け入れられる状況ではありません。

我孫子市の令和4年度末の財政調整基金の見込み額は42億1700万円で、必ずしも潤沢とは言えません。しかし、何としても一人当たり7500円の増額を食い止めるために一般会計から国保会計への繰り入れを行うべきです。

野村貞夫議員



12月議会でも質問した教育と不登校問題には様々な問題があることが分かりました。今回は、教育現場の状況と不登校対策について教育委員会の取り組みについて質問しました。

行きとどいた教育と不登校対策

行き届いた教育

教職員の残業手当がつかないのはなぜか

給与特別法により給与

の100分の4を基準として教育調整額を支給しなければなりません。教育職員には時間外勤務手当、休日勤務手当は支給されないと定められています。昨年12月から文部科学省で待遇や給料に関して有識者会議が行われ

来年度の中審会に諮問するものと思われます。その場合は注視していきたいと思えます。給与改定については必要ではないかと思っています。

(丸智彦教育長)

残業時間を減少させるために

小学校45時間、中学校60時間に設定し、80時間を超える職員を0人とする目標としました。今後の施策として
①部活動に関するガイドラインを継続実施 ②日課表を見直し放課後の時間を確保 ③行事の精選 ④業務改善 ⑤教育委員会提出書類の事務処理軽減

(丸智彦教育長)

不登校対策

教育相談センターの取り組み

相談内容は、家族関係、発達障害特性や不登校、学習面の相談があり、ケースワーカーが個別に聞いて、相談内容から多面的

(裏面に続く)

平和か戦争か 軍拡NO!

岸田自公政権は、5年間に軍事費を今の2倍の43兆円にすることを発表しました。この額になつたなら、アメリカ・中国に続いて日本は世界第3位の軍事費となります。

今なぜ軍事費を拡大しなければならないのか。岸田自公政権は、中国の台湾への干渉や北朝鮮のミサイルロケットの発射など、日本を取り巻く近隣諸国の危険な動きやロシアのウクライナ侵攻などを理由に上げ、アメリカに追随して日本を守り抑止力を強めるためと断言しています。

また政府は、全国約300の自衛隊基地を核攻撃などにも耐えるように整備し、強靱な基地にすると言っています。全国どこでも戦場になることを想定した防衛省の内部文書を、赤旗編集部がスクープしました。国民に隠したままゼネコンに発注案まで示しており、憲法83条違反の疑いも出ています。

軍拡NO! 戦争反対! の声を上げましょう。

日本共産党我孫子市委員会と後援会は、2月24日と3月17日に我孫子駅と天王台駅で、「軍拡N

軍事費を拡大する前に政府としてしなければならぬことがいっぱいあると思います。まずしなければならぬことは、軍事力の強化ではなく、戦争を防ぐ平和外交であると考えます。さらに、

国民の命と暮らしを守るために、コロナ感染症が減少してきているとはいえ、まだまだコロナ感染で死亡したり重症になったり後遺症で苦しんでいると、コロナ対策は完全ではありません。その対策をきちんとすることをお急がなければなりません。

また、物価高に対しての対策も緊急に手を打つ必要があります。さらに、労働者の賃金上げをして安心して生活できる状態になる対策をとる必要があります。

「なぜ5年間で軍事費を

43兆円にするのか。日本政府は戦争をするつもりなのか。絶対反対だ」

日本が、戦争することを前提に考え、軍拡したりアメリカから軍兵器を爆買したりしているのか、国民の命をどうおもっているのか」などと話をしてくれました。

原発ゼロ集会



福島原発事故から12年めになる3月4日、「福島を忘れない 原発推進を許さない 原発ゼロ集会」が日比谷野音で開かれ、各地から五百名が参加し、集会后は銀座をデモ行進しました。コロナ禍のため実際に人が集まる集会としては4年ぶりになりましたが、参加者が少なくなつたのは残念でした。

東していないし、8万人が故郷に戻れていません。それなのに岸田政権は、原発事故など無かつたかのように、汚染水海洋放出や原発復活を進めようとしています。原発NO! の声を上げ続けましょう。



一党員の思い

少し前に、党の規約に違反した元党員の問題を巡って、マスコミや一部の識者から「共産党には自由がない」などの疑問がありました。

まず日本共産党は、「みんなで討論して、そこで決まったことはみんなで行う組織」だということです。党大会がある時には、大会の2カ月前から、全党員による大會議案の討論が行われ、修正・補強がされます。自分の考えと異なる場合には、保留や反対することもできます。そして、

多数決で決まったことは、全員で実践してその方針が正しかったかどうか検証します。この方法は、日常活動でも同じです。みんなバラバラでは、まったく力を発揮できません。国民に責任を持ち、現在の政治を変えてより良い社会を作っていくうえで必要なことです。日本共産党が出来てから100年が経ちました。次の100年後の日本共産党の姿を見たいところですが、少し寿命が足りません。(湖北・Sさん・75歳)

三年ぶりの総会



東後援会の総会が、3年ぶりに3月25日に布佐ステーションホールで開かれました。岩井議員と野村議員から、これからの我孫子市のことや教育についての報告がありました。後援会員の中から親睦を深めるために、見学会や岩井議員の料理教室などの計画をしてほしいとの要望も出されました。

市民アンケートへのご協力ありがとうございました。市民の皆様から多くの回答をいただきました。また、ご意見とご希望

も寄せられています。皆様のご希望をもとに市へ要望し、よりよい生活環境をめざしたいと思います。

政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円

無料法律相談

東葛事務所の弁護士による相談です。相談のある方はご連絡をお願いいたします。

相談日 毎月第4木曜日 14:00~16:00
場所 岩井事務所
連絡先 090-7250-7213

